

●中聖牛の取組 里山の会の取組の中で作業報告をする場合、写真の添付が常に求められます。ヘルメットを着用していない人があって、報告書類に適さないと指摘されることがしばしばあります。軽度な観察会や調査会ならヘルメットが必要ありませんが、それでも足元と頭の防護は気になるものです。今回の中聖牛設置のうち、竹蛇籠の製作は 7m もの竹を何本も交互に編まなければならないので、防護対策は確立しておいた方がいいに決まっています。そして中聖牛の石詰め作業はユンボなどの重機を使用する場合も考えられるので、なおさらヘルメットの装着は必要不可欠な装備となります。8・9 日の参加募集では 100 名を予定していますので、揃えることになります。手持ち分を整理すると里山関係の皆さんには、かなり手渡しているもので新たに 10 個を購入することにして、80 個の調達に苦心しました。淀川河川事務所や河川レンジャー事務局に要請して何とか数量を整えられました。ほっとしたところです。手袋も重い石詰め作業なので 2 枚を使用させていただくことにしました。そして災害保険にも急遽加入しました。万一に備えて救急車についても考慮しました。

玉石運搬装置(キャリー)の借用進む 今回の中聖牛の取組中で、最も心配なものは玉石の小運搬です。10ton ダンプが 6 往復で持ち込んでいただいたものを聖牛製作現場(砂浜)に小運搬することに随分気を使いました。まさに土木事業そのものですから。木津川維持作業の業者は、相次ぐ台風被害の復旧工事と通常作業(草刈)が詰まっていて、とてもお手伝いをできる余裕はないとの返事でした。そこを曲げて、何とかご無理をお願いしました。本当に無理を聞いてもらったのです。台風被害がなければ気楽にお願いできたのですが、今年は大変でした。

昼食用資材の購入進む 木津川は人里からかなり離れたところを流れていて、今回の中聖牛の設置場所は堤防を降りて 500m は歩かなければなりません。堤防に戻って、食堂を探すということになれば相当時間がかかります。そこで昼食の準備は、できないものと相談しました。初日は里山カレーの定番食、そして翌日は炊き込みご飯なら用意できると返事をいただきました。これで時間の無駄を省くこともできました。冷えて冷たいコンビニ弁当ではなく、暖かい手づくりの昼食が支給できました。森さん伊藤さん芳川さん小川さんの 4 人には大変おいしいご飯を用意いただきました。ありがとうございました。

府環境フェスタとの重複イベント 二日目の炊き込みご飯を用意いただきましたところ、8 人分程度を多く炊いていただきましたので、環境フェスタのスタッフにも届けました。冷たくなっていましたが、おいしく食べていただきました。この日、二つの取組みスタッフさんには全員が同じ釜の飯をいただくことになりました。8・9 日は真正面から寒気の到来で、各地では初雪と初積雪が同時に始まるという寒波の襲来になりました。ここで暖かい手作り弁当はありがたいものでした。特に寒風が吹く河原では何よりのごちそうでした。皆さん心から温まったのではないのでしょうか。

前日準備(7 日) 話しは前後するのですが、京都府環境フェスタと中聖牛の設置という二つの重要なイベントが重なりました。里山の会としては、いずれも成功しなくてはならないものとして、随分と苦勞をしました。体制も一度ならず二度三度と変更を重ね工夫が必要でした。前日準備の手順は午前中には丁寧な準備を手抜きなく進めなければならませんでした。仕事は「段取り八分」とよく言われますが、この前日準備が滞りなく整えておけば、当日のトラブルは最小限に収まるものです。皆さん慎重な取り組みをいただきました。これくらいのことは何度も何度も経験してきているので、大騒ぎをするのではなくて、丁寧な行動をすれば十分やり切れる自信のもとに取り組みをすすめていただきました。改めて、里山の会の 20 年の経験がものを言っているようでした。初めて取り組む未経験者集団でしたら、とてもプレッシャーに負けてしま

っていたのではないかと思います。竹蛇籠設置には 100 人の参加予想、環境フェスタのブースは初体験の直線 3 ブースの展示で 70 枚以上の掲示物になりますので、その作品をどう掲示するのか気をもむものです。そして松傘ツリーづくりでお客さんへの対応と指導、そして何よりも展示した竹蛇籠と掲示作品の説明、それを 4 人で対応なので大変だったと思います。そして一方の中聖牛の設置は、静岡からの原小組さんとの対応、作業の進捗具合の全体把握、頃合いの休憩時間の取り方、初参加者への指導と無事故への気配り、未経験のことばかりで随分と気遣いが続きました。前日準備をしっかりと整えておけたので、大したトラブルもなく、計画通り作業を進めることが来たと思います。この日の協力スタッフさん本当にご活躍いただきました。ありがとうございました。里山の会に記録が残されました。

●8 日は朝から大変寒く この冬一番の冷え込みでした。6 時 30 分にゲートのカギを外し、設置現場の点検を行い、備品の運び込みを行いました。8 時前に原小組さんが静岡を 4 時に出発して到着されました。休憩も惜しんで木材の用途別仕分け作業を 3 基とも点検確認されました。続いて原社長のもとに、てきぱきと順序よく組み合わせがされ、針金での緊縛に進みます。10 時ごろに大方の参加者が集合して、開会の挨拶、竹門先生から中聖牛設置の意義や目的、そして効果についてお話をいただきました。参加者は改めて作業のねらいを確認されて、身が引き締まる思いをされたのではないのでしょうか。作りあげた竹蛇籠の出来栄は昨年より数段よくできていると評価をいただきました。ご参加いただいた皆さんは、進んでいく木材の組み合わせやこれといった道具はほとんど使用せず無理のない合理的な作業に、ただ感心するばかりでした。深泥池から来られたお母さんとの親子連れさんは、ステップルづくりに専念してくださいました。福井さんもそのお手伝いに懸命でした。特別にお願いしたのが、有田さんで、組み合わせや仕事の手順など漏らさず記録に書き留めていただきました。これがきっと後世に役立つものと思われまう。

●9 日は 3 基目の取組を計画しましたが、15 日に行う棟上げ作業がなくなるので、残しておこうと、石詰めにも専念しました。深田さんは 4m の蛇籠を一人で石詰めを行っていただきました。約 2 時間で石詰めが完成しました。ここから計算すると約 2m の長さの石詰めは 30 分にできるという計算になります。今後の取組の参考になるすごいデーターを手に入れました。ご苦労様でした。今回の作業では「各種の作業データー」が資料として記録できました。今後これが生かされ計画を立てやすくなります。

●15 日(土)の予定 8:00 原小組到着予定 9:00 スタッフ集合 10:00 中聖牛の骨組みの立ち上げ(棟木あげ)各支柱の取付組合せ 床木の取付 蛇籠への石詰め 周辺残り石の整理整頓 集合写真 適当な時間に昼食 大根炊きの振る舞い 竣工式を実施 閉会の挨拶で終了 14:30 原小組さん帰宅出発

●里山の会 10 大ニュース 58 項目の候補項目を抽出しました。これ等をまとめて数項にまとめられればいいのですが、なかなか難しいことです。ことし最終 753 号で発表します。会員各位で里山の会のニュースベストテンをご投稿ください。ここ 2012 年からのベストテンをご紹介します。

●年末年始の予定 1 2 月 2 2 日 オオムラサキ観察調査会
2 3 日里山農園年末清掃
2 5 日年末餅つき注連縄づくり
2 7 日事務局会議 ハイキングコース年末清掃
2 8 日パソコン教室 29 日事務所年末清掃 午後忘年会
1 月 2 日事務局会議
3 日+パソコン教室
5 日前日準備
6 日七草摘みと七草かゆ